

家庭学習の手引き（保護者用）

防府市立西浦小学校

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけさせるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。

入学時から机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身につけさせることが必要です。

1 家庭学習のさせかた

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせましょう。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせましょう。
- ③ どうしても勉強に集中できないときは、読書やお絵かきでも構いません、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせましょう。

2 時間のめやす

- ☆ 低学年 20～30分以上
- ☆ 中学年 40～50分以上
- ☆ 高学年 60～70分以上



3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身につけることが大切です。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしましょう。

② 学ぶための環境作り

テレビをつけたまま、または、音楽を聴きながら勉強をしても、効果が上がりません。お子さんが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけましょう。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。ときどき、コメントを書いてあげたりスタンプを押してあげたりなど見届けをお願いします。また、できるだけお子さんと一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

④ 学校との連携

学年だよりなどで、学習用具のことや宿題のことなどのお知らせがあると思います。必ず目を通して、学校と家庭とが連携して学習したことが身につくようご協力をお願いします。



がく て び ねんよう かてい学しゅうの手引き 1, 2年用



1 かてい学しゅうをするときには

- ①学しゅうをはじめるじゅんぴをしましょう。(テレビや音楽はけす。おもちゃやおやつをかたづける。)
- ②20分いじょうがんばって学しゅうしましょう。
- ③はじめに、^{がっこう}学校のしゅくだいをしましょう。
- ④もっとがんばりたいときは、^{なか}下の中からえらんでしましょう。
- ⑤学しゅうがおわったら、れんらくちょうを見て、あしたの^{がっこう}学校のじゅんぴをしましょう。



(おわったら、おうちの人に見てもらいましょう。)

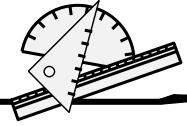


2 しゅくだいのほかにこんなこともできます

- ①ひらがなやかたかなやかん字を、書きじゅんに気をつけてていねいに書くれんしゅうをしましょう。
- ②てすとでまちがえたもんだいをもう一回しましょう。
- ③^{きょうかしよ}教科書の文^{ぶん}しょうで、心にのこった文^{ぶん}やすきな文^{ぶん}をのうとに書きうつしましょう。
- ④日記を書きましょう。(できごとをよく^{おも}思い出して^だ書^かきましょう。)
- ⑤^{ほん}本をたくさん^よ読みましょう。読みおわったら、本の^{ほん}だい名、^か書いた^ひ日と、^{おも}思ったことをみじかく^か書いておくといいですね。
- ⑥^{さんすう}算数の^{きょうかしよ}教科書のもんだいやどりる^{なんかい}を何回もしましょう。



家庭学習の手引き 3,4年用



家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、学力を身につけるものです。
毎日コツコツと続けていくことが、大切です。
さあ、できるところから続けてがんばってみましょう。

1 毎日家庭学習をしよう。学力アップは規則正しい生活から！！

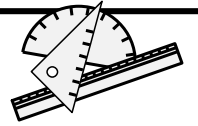
- ①早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ②家の手伝いを何か一つでもいいから進んでしよう。
- ③自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしよう。
- ④読書を進めよう。
- ⑤ニュースに関心をもち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥わからないことや新しく発見したことは本やコンピュータで調べてみよう。
- ⑦あしたの学習や用具の準備をしておこう。
- ⑧毎日30～40分は、学習しよう。（先に宿題をしよう）



2 宿題のほかにこんな学習をしてみよう。できるところから！！

- ①一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書こう。
- ②ドリルなどを使って、筆順ひつじゅんに気をつけながら漢字の練習を進めよう。
- ③今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写そう。
- ④ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみよう。
- ⑤わからない言葉を辞書で調べて、用例も書いておこう。
- ⑥テストやプリントでまちがったところをもう一度やりなおしてみよう。

家庭学習の手引き 5,6年用



家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるものです。毎日コツコツ続けていくことが、あなたの生きる力を高めていくのです。さあ、できるところから一步踏み出していきましょう。

1 家庭学習の習慣化を！！学力アップは規則正しい生活から！！

- ①早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ②家庭の手伝いを進んでしよう。
- ③自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしよう。
- ④読書を進めよう。
- ⑤ニュースに関心をもち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥新しく発見したことや気になったことは、本やコンピュータで調べてみよう。
- ⑦見通しをもって、用具や学習の準備をしておこう。
- ⑧毎日50分から1時間は、机に向かう習慣をつけよう。



2 宿題のほかにこんな学習をしてみよう！！

- ①一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書こう。
- ②ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進めよう。
- ③今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写そう。
- ④ドリルなどの計算練習に毎日粘り強く取り組んでみよう。
- ⑤わからない言葉を辞書で調べて、用例も書いてみよう。
- ⑥テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみよう。
- ⑦教科書の言葉の広場の問題（国語）や練習問題（算数）を解いてみよう。